

2004年2月25日

<報道資料>

東北パイオニア株式会社

**東北パイオニア、ベンチャーメーカーの半導体パッケージ外観検査装置製造を受託
インスペック社の検査装置製造部門を担当**

東北パイオニア株式会社（本社：山形県天童市 代表取締役社長：山田昭一）FA 事業部は、このたび、半導体パッケージ外観検査装置メーカー・インスペック株式会社（本社：秋田県仙北郡角館町荒屋敷 代表取締役社長：菅原雅史）との間で、検査装置の製造を受託するはこびとなりました。

デジタル関連機器の市場拡大に伴い、半導体及び半導体パッケージは製品の性能を決定づけるキーパーツとなってきたり、また機器の小型化に伴い電子パーツの高精細化・高密度化も加速度的に進んできています。基板実装におけるファインピッチ化も急速に進み、従来の目視や顕微鏡等では十分な品質検査は困難で、高性能な画像処理による検査が不可欠になってきています。

インスペック社は、1984年に太洋製作所の社名の下に、カセット用磁気ヘッド組立てを中心事業として創業しました。90年代半ばには画像処理による検査装置の開発に取組み、96年にリードフレーム（以下L/Fと省略）変形検査システム・MV7100シリーズを開発しました。2001年1月に、社名を現在のインスペック株式会社に変更し、2002年には、業界初となる8000bitのラインセンサーカメラを採用した独自の高分解像度画像処理エンジンの開発に成功しました。

高密度実装の進展に伴い半導体関連の検査機器の高機能化は業界では急務とされており、インスペック社ではかねてから需要拡大に対応できる高い製造技術を持った企業を模索していました。

一方、東北パイオニア FA 事業は、システム FA の製造販売で20年の実績を誇り、この間、自動車部品メーカーをはじめ多くの産業用省力化自動ラインを製造し、高い評価を得ています。また、02年10月には、旧パイオニアビデオから事業移管された光ディスク製造装置の事業をスタートし、03年のCD R、DVD R 生産装置の製造実績では世界トップクラスの位置にあります。インスペック社との関係は「太洋製作所」時代に遡り、東北地区の隣県同士ということもあって、相互交流を続けてきたことからこの度の合意に至りました。

この結果、東北パイオニア FA 事業部が誇るシステムインテグレーターとしての生産技術力と、インスペック社が所有する高度な画像処理技術を駆使した新たな検査装置の開発力が重なり、一層の低コスト・高品質・短納期化が可能となり、拡大し続ける半導体関連の外観検査装置の需要にフレキシブルに対応することが出来ます。また今後は、事業の拡大に伴って、東北パイオニアが持つ海外での営業・サポート体制を生かし、海外での事業展開のコラボレーションも検討して行く予定です。

<お問い合わせ先>

東北パイオニア（株）広報部 長澤 TEL：023-654-9198 FAX：023-654-9526

<広報代行> プラップジャパン(株) 新井 TEL：03-3486-6868 FAX：03-3486-7502

【東北パイオニアF A事業部概要】

主な事業経緯

- ・1974年 カーステレオ及びスピーカーの省力化ラインの生産開始
- ・1984年 F Aシステム外販開始
- ・2002年 パイオニアビデオ(株)より光ディスク製造装置の事業移管を受ける
- ・2004年 第3工場棟竣工、上海工場棟竣工

最近の事業実績

- ・2003年3月期売上 80億円
- ・2004年3月期売上見込み 180億円

【インスペック社概要】

創業：1984年（昭和59年）1月

資本金：6億6890万円

代表者：代表取締役社長 菅原雅史

従業員数：41名

主な事業経緯

- ・1984年 カセットテープ用磁気ヘッド組立てを中心事業に創業（社名：太洋製作所）
- ・1989年 8mmVTR用磁気ヘッド組立て開始（社名：株式会社 太洋製作所に変更）
- ・1996年 L / F変形検査システム開発
- ・1998年 L / F表面検査システム開発
- ・2001年 大洋製作所から「インスペック株式会社」に社名変更
- ・2002年 画像処理エンジン「inspec2」完成、販売開始。